



# Jichi 地域連携ニュース

- ・ A Year Book of Pediatric Endocrinology … 田島敏広
- ・ ハローワーク宇都宮による治療と仕事の両立に関する相談会について
- ・ 自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・ FAXによる患者様紹介について

## A Year Book of Pediatric Endocrinology

とちぎ子ども医療センター小児科 教授 田島敏広



私の主な専門領域は小児内分泌・糖尿病・代謝領域ですので、ご紹介いたします。私の所属する日本小児内分泌学会は1967年に「日本小児内分泌学研究会」として設立され、その後1984年に「日本小児内分泌学会」へと発展しました。そして2016年4月には法人格を有する「一般社団法人日本小児内分泌学会」となり一昨年50周年を迎えました。また一昨年は、アジア・太平洋小児内分泌学会を東京で開催し、多くのアジア、太平洋諸国の参加者を迎えることができました。

自治医科大学小児科からも、これからの栃木、日本の医療を担う若い3名の医師が英語での発表を行い、同時に各地の小児内分泌科医との懇親を深めることができました。今後も自治医科大学の若い先生方がアジア、太平洋諸国を含めた医療のグローバル化をすすめてくれることを期待しています。

### 1 成長

こどもはさまざまな面で成長しますが、身長、体重も年齢とともに変化してゆきます。甲状腺炎のお子様の成長曲線を示しますが（図1）、病院受診が13歳であったため、成人身長は136cmとなってしまいました。お子様は年頃ですので、「もっと身長のびませんか。もうだめですか。」と毎回質問されるので、返答に窮することもしばしばです。生活上では自動車免許、就職のときに不都合が生じることがあるかもしれないのが、気がかりです。

平成28年4月から学校健診で成長の評価に成長曲線の使用が推奨されるようになり3年近くが経過しました。適切な成長曲線の使用により、過剰な診療に陥ることなく、先ほどのような事例の早期発見、早期治療に役立つような成長曲線の活用が必要でしょう。そのために一層学校保健に関わる皆様との連携が大切になってきます。

また日本の最近の身長のセキュラートレンドが報告されています。「こどもは自分より背が高くなる」と漠然とおもっている方も多いかと思います。最近のトレンドでは1997-2014年の出生のこどもの成人身長は今より低くなることが予想されています。したがって2020年には先ほどの成長曲線が低く修正されるかもしれません。

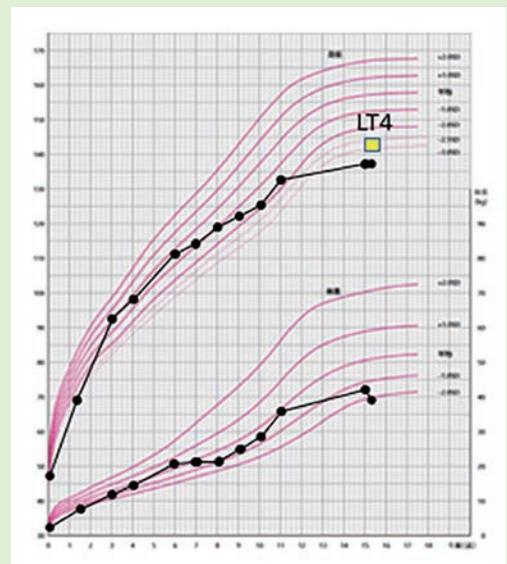


図 1

## 2 副腎

こどもではなじみの少ない疾患ですね。しかし副腎不全（クリーゼ）は多くの読者の皆様をご存知とおもいますが、生命の危機に陥る状態です。日本の副腎疾患のこども達の副腎不全の頻度について調査を行いました。3歳以下では、適切に服用している場合でも、かなりの頻度で発症することが明らかになりました。欧米では緊急時のグルココルチコイドの自己注射が認められています。今後日本でも緊急時のグルココルチコイドの自己注射の保険適応をすすめてゆく必要があります。

また現在の経口でのコルチゾール補充は錠剤の粉碎で、こども達には苦みがあるため不評です。かつてはコルチゾールの散薬があったのをご存知でしょうか。最近、コルチゾールの顆粒製剤を赤ちゃんから6歳までに投与して、十分な血清コルチゾールレベルを得ることができると報告され、こども達、保護者の悩みの改善になることが期待されます。

## 3 骨、軟骨

日本では世界で唯一骨形成不全症に対するビスホスホネート製剤の点滴治療が保険適応で認められている国です。昨年3月に行われた「第100回米国内分泌学会」（シカゴ、ちょうどセントパトリックデーでした。街も川もみどりでそまっています。図2）で、小児の骨代謝疾患のシンポジウムが行われました。このシンポジウムでは難治性の骨代謝疾患について、酵素補充療法の長期の治療効果が報告されました。日本でもこの酵素補充療法は最近導入され、この疾患の生命予後の改善を劇的にもたしました。シンポジウムではさらにこどもの骨粗鬆症の新しい治療、遺伝性のくる病の抗体治療の小児への効果が討論され、ホルモン補充や機能抑制だけではない新たな治療選択肢が示されました。

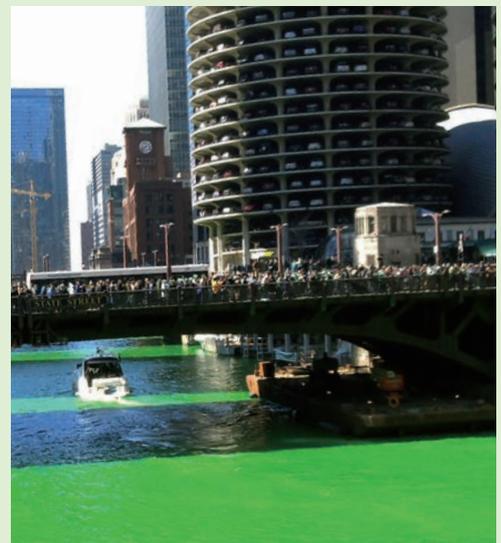


図2

## 4 糖代謝

昨年開催された「糖尿病の進歩」では、小児思春期インスリン治療研究会より2008年の血糖コントロールについて報告が行われました。平均のHbA1cは1995年の9.33%、から7.75%と低下しています。また治療法として、インスリン持続皮下注が全体の20%で行われていることが明らかになりました。しかしあくまで、このHbA1cは平均であり、まだおおくのこども達で改善の余地があること、またBody Mass Indexが次第に高くなっていることが今後の解決課題とされました。自治医科大学小児科でもインスリン持続皮下注を希望のあるお子様に使用してゆくことができればと考えます。

最後になりますが、こども達はよく「まだ病院こなければならぬですか」あるいは「もう注射なくていい？」ときいてきます。「今日で卒業だね」「バイバイだね」と言える日を夢にみえています（医師は就職難でしょうが、その時は?）。

# 治療をしながら働きたい、 働き続けたい方へ

治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい！

通院しながら働きたい！

仕事復帰の不安を解消したい！



自分の病状にあった  
仕事を見つけたい！

就職活動で、会社に  
病気のことを伝える  
べきか迷っている。

## ～治療と仕事の両立に関する相談会～

### 在職中・休職中の方

両立支援促進員  
(栃木産業保健総合支援センター)  
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日  
10:00～13:00

### (再)求職中の方

就労ナビゲーター  
(ハローワーク宇都宮)  
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日  
13:30～15:30

院内で相談が受けられます！  
事前のご予約を！

◇方 法：完全予約制\*相談希望月の第1火曜日17時までにお申し込み下さい

◇費 用：無料

◇その他：\*疾患の種類・県内外住所地は問いません。

\*匿名でのご相談もお受けしております。

◇相談実施場所（自治医科大学附属病院内）

患者サポートセンター医療福祉相談室

◇予約連絡先 0285-58-7107（直通）

◇実施機関連絡先

栃木労働局 ハローワーク宇都宮 専門援助部門 電話028-638-0369 部門コード#45

独立行政法人 労働者健康安全機構 栃木産業保健総合支援センター 電話028-643-0685

◇後援：自治医科大学附属病院 患者サポートセンター



## 自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内） 担当：伊原麻佑、加納秀樹  
TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

## FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただきますようお願いいたします。

**FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時《厳守》**

### －ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。

### < FAX 予約のご利用方法 >

1. 「紹介状（診療情報提供書）」および「FAX 診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX 診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAX 診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療」予約票をお渡しくください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX 紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

